

# 末廣日出則税理士事務所

(東京)

## 中小から大手企業、個人からグループ会社まで 「百貨店」の総合力で税務・会計から経営をサポート

### 厳

しい経済環境と競争が続く中で多忙を極める中小企業の経営者。煩雑な税務・会計を専門家に相談しようにも、東京都内だけで2万人以上いる税理士の中から、本当に頼れる「右腕」を選ぶ事は難しい。

「税理士を選ぶポイントには費用や事務所の規模だけではなく、気軽に相談でき、必要なサービスを受けることができるかを見極めることです。明確な得意分野を持つことも重要ですが、私は、「百貨店」のように専門分野に特化せず、幅広いサービスが提供できる事も強みだと思います」



末廣 日出則 所長

こう語るのは、末廣日出則所長。約15年間、大手製糖会社に勤務し、工場での原価管理から本社の経理全般、経営企画部門などに従事した後、ベンチャー企業に転職して株式公開の準備にも携わった経験を持つ。

平成19年に税理士試験に合格した末廣所長は、大手企業とベンチャー企業、双方における経理の実務経験を生かし、企業規模や業種に囚われない多彩なノウハウを提供。その「総合力」の高さから、グループ会社の税務・会計業務を一括で任せられることが多いという。また、税理士が年1回程度しか訪問しない事務所もある中、末廣所長は自ら

全てのクライアントを訪問し対応する。経営者・担当者とのコミュニケーションをとることで課題を抽出・確認し、クライアントのニーズに応じたオーダーメイドのサポートを行っている。

「何事も最初が肝心。後で相談を受けても、すでに手遅れの状態になっている場合もあります。税務・会計以外のことも、お客様から気軽にご相談いただける事が何より嬉しいですね」と話す末廣所長。領収書

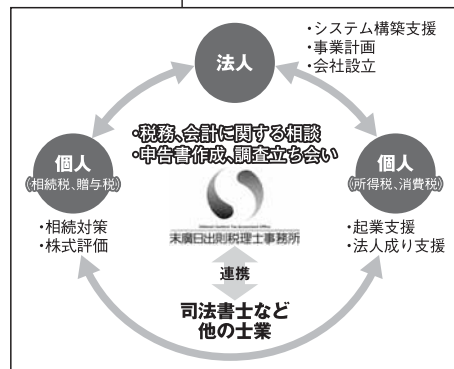
等から日々の会計処理をできる限り社内で行えるようにレクチャーするなど、税理士に頼らずとも業務効率化を進められる社内体制づくりに貢献している。

「決算書や申告書から財務状況や経営成績を報告しても、その中身が難しく、内容を理解・消化しきれないケースも多いです」と話す末廣所長は、専門用語をできるだけ使わず、平易な言葉での説明を心がけ、課題解決への方策をアドバイスする。また、早めに納税見込額を算出し、申告期限に余裕をもって決算・申告書の説明を行うなど、スピーディーな仕事ぶりとわかりやすい説明が、クライアントからの信頼につながっている。

法人だけでなく、個人の所得税や相続税申告書の作成、法人設立をサポートしている末廣所長は、司法書士など他の士業とも連携を

図り、幅広く全国からの問い合わせ・相談に対応できる体制を整備。今後は、医療や飲食業界の実績をさらに積み上げて対応業種の領域拡大を目指し、事業承継などを通じてクライアントと共に成長していく。(石)

「会社データ」  
本社 東京都新宿区西新宿6-12-6 コアロード西新宿1205  
☎ 03-6304-5092  
設立 2008年2月  
事業内容 会計システムの構築サポート、税務相談及び税務申告書・代理業務  
<http://www.suehiro-taxoffice.com>



同事務所のビジネスモデル